

第 6 次津田地区地域福祉活動計画
(令和 6 年度～令和 10 年度)

津田地区社会福祉協議会

令和 6 年 3 月

《はじめに》

津田地区社会福祉協議会では、平成 14 年度に第一次津田地区地域福祉活動計画を策定して以来、第二次・三次地区地域福祉活動計画と、福祉目標を『住民主体の福祉活動をすすめ、支えあい・助け合う活動を通して、この地域に住んで良かったと実感できる地域づくり』としました。また、第四次地区地域福祉活動計画以降は、福祉目標を『こころ触れ合う福祉のまち津田』とし、津田地区に暮らすすべての人たちが心を通わせ、支え合うまちになるよう努めてきました。

近年は地域福祉として期待されるニーズが多様化し、高齢者福祉に加え、青少年の健全育成、乳幼児を持つ親の子育て不安の解消、障がいへの理解の促進、成人の生活習慣病予防など、多角的な事業が求められています。

多角的な事業が求められる一方で、地区活動の基盤となる町内会自治会への加入率は年度を追うごとに減少しています。「町内会自治会」を母体とした地域住民のつながりが希薄になっていることは、福祉活動に限らず津田地区全体の諸活動を推進するうえでの課題となっています。

これらのことをふまえ、第六次津田地区地域福祉活動計画は、地域住民同士が互いを理解する機会を増やし、多種多様な人々が少しずつ支え合い、ともに暮らしていける地域となるために出来る事を考え策定しました。津田地区で様々な福祉活動が行われていることがより認知されることで、それに参加する方や活動の運営にかかわる人が増えて、人のつながりの輪が広がっていく事を期待します。

《津田地区の概要》

津田地区は松江市街地の南東部に位置し、西津田、東津田を縦断する国道 9 号線沿いには自動車企業のほとんどが進出しています。また、松江バイパス自動車道の松江東インター付近には、島根県合同庁舎、島根県生涯学習センターが建設され、最近は大層マンションが何棟も立ち並んできました。そして、東津田地内を南北に走る縁結び大橋だんだん道路も平成 24 年 3 月に開通し、津田地区の様相はこれからまだまだ変貌しようとしています。

《津田地区の現状と課題》

津田地区の自治会組織は28の町内会自治会が組織されており、世帯数は6,472世帯、人口13,574人（令和5年4月末現在）の松江市で4番目に規模の大きい地域です。

地区内でアパートや大型マンションの建設が進み、他地区や他府県からの転入者も多くおられます。そのため0歳児人口は松江市公民館区内で一番多く、他地区と比べると人口に占める若年者の割合が高い一方、地縁や地域への愛着の薄い世帯もあります。

津田地区の65歳以上の人口は3,357名で高齢化率は松江市で3番目に低い24.7%です。しかし、子どもたちは独立して県外に転出したり、他地区で暮らす人も多いため、高齢者夫婦や一人住まいの高齢者は増えてきています。また同時に、高齢者福祉施設への入居や病気等の理由により、住み慣れた我が家を離れる人も増えてきています。これは昭和40年代～50年代に造成された高台の住宅が多く、運転免許を返納して車の運転をしなくなった高齢者にとっては、買い物や通院などの日常生活に困難が生じていることも理由のひとつと考えられます。

さらに、近年は他地区からの転入者の自治会未加入や高齢等を理由とした自治会脱会者が際立ち、町内会自治会への加入率は、平成30年から5年間で4%減少し、令和5年度には43%となりました。自治会運営の継続が懸念されており、地域のさまざまな課題に対応できる担い手が不足してきています。

他地区からの転入者や、子どもが他地区で暮らす高齢者夫婦、一人住まい高齢者の方が増えていく中で、近所の住民同士の助け合い、支え合いの必要性は高まっています。しかし、自治会加入率は低下していることから、支え合いの輪の中に入ることや、その輪の中にいることを難しく思う人も多くいると考えられます。

《津田地区地域福祉活動計画の概要》

〔スローガン〕

『こころ触れ合う福祉のまち津田』

津田地区に暮らす全ての人がかこころを通わせ、「福祉」を「自分のこと」として受け止め、お互いが支え合い、誰にも優しいまちになることを期待しスローガンとしました。

〔津田地区地域福祉活動計画〕

※別紙「活動計画表」参照

今までの地域福祉活動の評価やグループワーク、ヒアリングを通して、地域の現状や課題を整理し、活動内容の改善や各組織の連携などの見直しを行いました。

《添付資料》

- 活動計画表 (資料No.1)
- 第6次津田地区地域福祉活動計画策定委員名簿 (資料No.2)
- 第6次津田地区地域福祉活動計画策定委員会経過 (資料No.3)
- 津田地区基本データ (資料No.4)
- 第5次活動計画ふりかえりシート（グループワークまとめ） (資料No.5)
- ヒアリング内容まとめ（関連する項目を記載） (資料No.6)

第6次 津田地区地域福祉活動計画表

資料No. 1-1

スローガン（福祉目標） ころころ触れ合う福祉のまち津田

大目標（理想・目指すべき）	目 標（具体的な）	目標達成に向けての❖活動名 ・取組み	実施する主団体 協働する団体
①人と人をつなぐ地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・なごやか寄り合い活動の充実をはかる 	<ul style="list-style-type: none"> ❖各なごやか寄り合い会及び世話人への情報提供や運営支援 ・情報交換会(交流会)を開催する。 ・各なごやか寄り合い同士の見学・交流を促進する。 	<p>実施する主団体 ・津田地区社協</p> <p>協働する団体 ・各なごやか会</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・自由に集う憩いの場を提供する 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ボランティア喫茶のPR支援・強化 ・知名度を高めるためのチラシや暖簾づくりなどで、ボランティア喫茶をPRする。 ❖団らんの場、打合せの場、情報提供の場として活用 ・なごやか会、福祉推進員ほか各種団体にボランティア喫茶の案内をする。 ・ボランティア喫茶で行事や健康づくりなどのチラシを配付する。 	<p>実施する主団体 ・つばきの会</p> <p>協働する団体 ・津田地区社協</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が住み慣れた場所でずっと元気に暮らすことが出来る地域にする 	<ul style="list-style-type: none"> ❖友愛訪問の充実 ・幼稚園・小学校に協力依頼をし、子どもたちに手紙を書いてもらう。 ・花の苗をきっかけに話題づくり、関わりの継続につなげる。 	<p>実施する主団体 ・民生児童委員協議会 ・福祉推進員の会 ・津田地区社協</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ❖ミニデイサービスの充実 ・幼稚園児との交流も取り入れ、内容を工夫しながら実施する。 ・民生児童委員、福祉推進員、食生活改善推進員と協力して実施する。 	<p>実施する主団体 ・民生児童委員協議会 ・福祉推進員の会 ・食生活改善推進協議会 ・津田地区社協</p>
②地域との触れ合いを通し、皆が健康で豊かなところづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心して子育てができる地域環境を整える 	<ul style="list-style-type: none"> ❖子育て情報の提供体制の強化 ・広報「津田地区子育て応援団」年1回の更新・配布する。 ・広報「津田地区子育て応援団」の知名度をあげる・広めるため、地区内スーパー・小児科・不動産屋などでのチラシの掲示を依頼する。 ・広報「津田地区子育て応援団」を館報へ掲載する。 ❖子育て環境の充実 ・世代間交流の促進、公民館等事業への積極的参加を呼び掛ける。（公民館文化祭、納涼祭、七夕等） ・子育て関係者の連絡会議を開催する。 	<p>実施する主団体 ・母子保健推進員</p> <p>協働する団体 ・津田地区社協 ・松江市健康推進課</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・健康意識を高め、健康寿命をのばす ・健診受診率を向上させる 	<ul style="list-style-type: none"> ❖健診受診率向上のための活動、PR ・検診日に合わせて、健康チェックを実施する。 ・検診カレンダーの作成や広報車を活用する。 ❖健康づくり活動 ・健康体カチェックを実施する。（出前講座の実施と各町内会へ働きかけ等） ・健康ウォーキング教室を実施する。 ・各世代に向けた食育講座を実施する。（男性の料理教室等） ・「るるくる<small>（注釈1）</small>」の啓発、実施をする。 ・「健康だより 笑顔でタッチ！」を発行する。 	<p>実施する主団体 ・健康つだ推進隊 ・食生活改善推進協議会</p> <p>協働する団体 ・津田地区社協 ・松江市健康推進課</p>

(注釈1)「るるくる」…松江市が自分自身の健康を保持増進するために必要な行動である、「はか(る)」「つけ(る)」「きづ(く)」「かわ(る)」の最後の文字をとって「るるくる」と呼び、実践することを推奨しています。

第6次 津田地区地域福祉活動計画表

資料No.1-2

スローガン(福祉目標) ところ触れ合う福祉のまち津田

大目標(理想・目指すべき)	目標(具体的な)	目標達成に向けての❖活動名 ・取組み	実施する主団体 協働する団体
③支援が必要な人を取りまく環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが安全で安心して暮らし続けることのできる地域づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ❖民生児童委員および福祉推進員の活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・研修・交流会を実施し、福祉推進員同士および民生児童委員とのつながりを強化する。 ❖高齢者等の見守り活動の継続・向上 <ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者を中心とした見守りを自治会の協力を得ながら実施する。 ❖関係団体との連携支援 <ul style="list-style-type: none"> ・民生児童委員、福祉推進員、町自連、津田地区社協、包括支援センターなど関係機関で、連携・協力・情報共有を行う。 ・町内会長を対象に、福祉推進員の役割等についての福祉研修を実施して、役割を理解する。 	<p>実施する主団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生児童委員協議会 ・福祉推進員の会 ・町内会自治会連合会 <p>協働する団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津田地区社協 ・包括支援センター
	<ul style="list-style-type: none"> 障がいに対する理解の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ミントの会など活動団体への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・活動および広報について支援する。 ❖障がい者に対する理解を深める機会の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・障がいに対する研修会を実施する。 ・ミントの会、津田地区社協、福祉施設などとの話し合いを実施する。 	<p>実施する主団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津田地区社協 ・ミントの会
④住みやすい地域醸成	<ul style="list-style-type: none"> 共助の力(連帯感)を高める 地域のことを「我が事」として対応できる土壌づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ❖よりよい地域にするための学びの場の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の支援体制について、(研修会等で)各種団体間の意識を高める。 ・毎年、座談会を実施し、生活・福祉課題など情報を共有し、活動に活かす。 	<p>実施する主団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6次津田地区地域福祉活動計画策定委員 <p>協働する団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津田地区社協
	<ul style="list-style-type: none"> 各福祉団体の知名度をあげる 一緒に活動する仲間をふやす 福祉活動について理解してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ❖たよりの発行などによる各団体の広報 <ul style="list-style-type: none"> ・広報手段の紙面や手法を工夫する。 ・福祉情報や資料を収集し住民に提供する。 ・SNS等電子媒体の活用について検討する。 	<p>実施する主団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津田地区社協 <p>協働する団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団体

第6次津田地区地域福祉計画策定委員会 経過

開催日		内 容
令和5年6月24日	第一回	・第6次津田地区福祉計画策定についての説明 ・今後の委員会の進め方について ・グループワーク①「地域課題の整理・5次計画振り返り」
令和5年7月26日	第二回	・グループワーク② 「5次計画振り返りを踏まえて、次のアクション（方策）等」
令和5年9月～10月	ヒアリング(11団体)	
令和6年2月6日	第三回	・第6次津田地区地域福祉活動計画(事務局会案)の 点検・加筆・訂正
令和6年3月15日	第四回	・第6次津田地区地域福祉活動計画の決定
随時	事務局会	・策定委員会に向けての打合せ(毎月1回以上実施)

統計データ

	第1次計画策定時 (H13年)	第3次計画策定時 (H21年)	第4次計画策定時 (H25年)	第5次計画策定時 (H30年)	第6次計画策定時 (R5年)
人口	12,805	13,356	13,473人	13,449人	13,574人
世帯数	4,910	5,611	5,827世帯	6,073世帯	6,472世帯
自治会加入率		54.2	51.10%	47.00%	43.00%
生産年齢人口			8,536人	8,195人	8,272人
年少人口(15歳未満)			2,024人	1,958人	1,945人
就学前人口(0~6歳)			979人	825人	891人
0歳児数			158人	158人	137人
65歳以上人口	2,076	2,629	2,913人	3,296人	3,357人
一人暮らし高齢者数	163	518	526人	819人	1,018人
介護認定者数	212	406	492人	646人	654人
〔要支援〕 〔要介護〕	36	119	144人	158人	163人
	176	287	378人	488人	491人

出典：【第1次～第5次策定時】第5次計画時の基本データより 【第6次策定時】松江市政策統計システムおよび津田公民館調べ
 【第6次策定時】令和5年4月末現在のデータ（介護認定者数および要支援・要介護は令和4年3月末現在のデータ）

社会資源

(令和6年2月末現在)

買い物できるところ (スーパー・小売店)	HOK、ディオ、JAグリーンつだ、コンビニ、ウェルネス、フリーダム、トライアル、コスモス
金融機関	合銀津田支店、島銀津田支店、JA津田支店
郵便局	津田郵便局、合同庁舎内郵便局
交番・駐在所	津田交番
公共施設 (集会所含む)	(公共施設) 合同庁舎、いきいきプラザ (集会所等) 東津田一区町内会館、東津田三区町内会館、高日会館、西津田会館、大山代公会堂、翠ヶ丘会館、東光台会館、湊東台会館、東津田団地自治会館、県営東津田集会所、県営明神集会所
公共交通機関	市営バス、一畑バス
児童福祉施設	愛恵保育園、虹の子保育園、東津田児童館
教育機関(学校など)	津田幼稚園、津田小学校、四中、開星中・高、理美容学校
医療機関	よしの医院、つきざわ内科医院、ほしの内科胃腸科クリニック、ぽよぽよクリニック、恒松歯科医院、デンタルクリニック大山、吉川歯科クリニック、マザリー産科婦人科医院、いきいきクリニック、はっとり皮膚科クリニック、レディースメンタルクリニック一粒の麦、みやげ眼科、つだ胃腸科・内科クリニック、田中脳神経内科
介護保険関係事務所 高齢者福祉施設	(特別養護老人ホーム) 津田の里 (居宅介護支援) 津田居宅、一休庵、サンキウエルビィ (通所介護) デイサービス一休庵・東津田、あおぞらデイサービス、だんだんデイサービス東津田 (認知症対応通所介護) ニチケアセンター東津田 (訪問介護) 訪問介護ステーション蓮香、サンキウエルビィ介護センター松江、津田訪問介護センター、にこにこヘルパーさん、こころねヘルパーステーション西津田・津田・東津田 (訪問看護) 訪問看護ステーションデューン松江、訪問看護ステーション蓮香、こころね訪問看護ステーション西津田・津田、ナースステーションうさぎ、ケアプロ訪問看護ステーション島根松江ステーション (短期入所生活介護) 津田の里、ショートステイそよ風 (グループホーム) グループホームアンジュ、ニチケアセンター東津田 (小規模多機能型居宅介護) サンキウエルビィ小規模多機能センター松江 (サービス付き高齢者住宅) ケアホームあおぞら、シニアコート西津田・東津田、シニアステージ東津田、心の蓮
障がい者、その他福祉施設	互助の館(かがやき、せせらぎ、あっぱれ)、放課後等デイサービス・ピピ、放課後等デイサービスどろんこ、聴覚障がい者情報センター(いきいきプラザ)

第5次津田地区地域福祉活動計画 振り返りシート
(グループワークまとめ)

①高齢者が安心して暮らし続けることのできる地域づくり

活動名	目標	目標に対する評価		目標達成に向けての取り組み	目標達成に向けての取り組みの振り返り	
		(参考) 地区社協事務局	策定委員会		やったこと	出来なかったこと
					やって分かったこと (成果・課題)	出来なかったことで起こったこと もし出来ていたら期待できた効果
なごやか寄り合い事業	・なごやか寄り合い実施地区の増加	○実施地区は増加しなかった ○「必要な働きかけ」も不十分であった	◆自治会・町内会長への働きかけをする	①未実施地区への働きかけ(なごやか寄り合いの意義や事業説明、実施地区の活動内容の紹介、町内会へ呼びかけ) ◆コロナ禍で休会したが、今年から再開している地区もある ◆11地区から増加していない ◆コロナ禍でも実施した地区もある ◆コロナでも小規模で実施し、喜ばれた ◆高齢者に喜ばれ、次回を待っておられる方が多くあった	◆コロナ禍で飲食ができなかった ◆令和2年度がら中止 ◆飲食があれば、より打ち解けることができる、参加率もup ◆活動を紹介し、配布 ◆毎年楽しみにしておられ、残念がられる ◆足の弱った方、病気になられた方が増えた ◆もし続行していたら健康維持ができていたのでは	
	・各なごやか寄り合い会及び世話人への情報提供や運営支援	○情報提供や運営支援は実施できたと考えている。	◆情報提供の工夫が必要である	②情報交換会の開催、各なごやか寄り合い同士の見学・交流の促進 ◆小規模ながら、でも継続すること ◆屋外でのニュー・フェイスのひびき出来る(モルック・GG)	◆コロナで交流できていない	
	・団らんの場、打合せの場、情報提供の場として活用する(自由に集う憩いの場)	○情報提供や運営支援は実施できたと考えている。	◆情報提供の工夫が必要である	③集いやすい活動場所についての検討 ◆団地内の公園で実施した地区もある		
ボランティア喫茶	・団らんの場、打合せの場、情報提供の場として活用する(自由に集う憩いの場)	○団らんの場・打合せの場として活用されてる。 ○喫茶のPRを①公民館だより②子育て応援団パンフレット③福祉推進員だよりで実施しているが、掲載内容等の工夫はもっとできると思う。	◆広報に写真を入れたらよいと思う (喫茶の様子がわかる写真) ◆PRにインパクトのあるたよりにしてほしい ◆公民館だよりの中で、誰でも参加できることを強調したらよいのでは 例えば、子育て世代の参加を促すとか	①なごやか会、福祉推進員他各種団体にボランティア喫茶の案内 ◆月に2回公民館でメンバー8名で運営している ◆ボランティア喫茶の場で会をしたりしている ◆福祉(推進員等)の打合せの場として活用されている		
				②行事や健康づくりなどのチラシ配付 ◆毎月公民館だよりで、ボランティア喫茶の案内を出してもらっています		

活動名	目標	目標に対する評価		目標達成に向けての取組み	目標達成に向けての取り組みの振り返り	
		(参考) 地区社協事務局	策定委員会		やったこと	出来なかったこと
					やって分かったこと (成果・課題)	出来なかったことで起こったこと もし出来ていたら期待できた効果
独居高齢者見守り支援事業	・友愛訪問の充実	○実施している手紙については、工夫をする余地がある。 ○お花については、現状維持でよいと思う。	◆いままでどおりの手紙、絵の入ったもので良いと思う ◆絵と文章がとてもよい かわいいと喜ばれます ◆シクラメンは現状でよい 色違いがあるし	①幼稚園・小学校に協力依頼をし、子どもたちに手紙を書いてもらう。	◆子ども達に手紙、絵をかいてもらった	◆私（大人）も手紙等をすればよかった
					◆とても喜ばれ、お礼の手紙を書かれた人がいる	
			②花の苗をきっかけに話題づくり、関わりの継続につなげる。	◆毎年役員が集まって花をラッピングしている ◆シクラメンとおたより喜ばれる 継続してほしい		
				◆花の手配りは毎年楽しみにしておられる		
・ミニデイサービスの充実	○ミニデイサービス事業の継続は意義があると思う。 ○幼稚園さんとの多世代交流は継続しつつ、アフターコロナに合った実施方法について、関係者と話し合い検討したい。	◆継続する ◆内容については工夫の余地がある。品物を配るとか？	①幼稚園児との交流も取り入れ、内容を工夫しながら実施	◆ミニデイで踊りや尺八等を喜ばれた	◆令和2年度から中止	
					◆もし出来たら児童からの肩たたきなど交流してほしい ◆工作などの手渡しが喜ばれる ◆お手玉等の手あそび	
			②民生児童委員、福祉推進員、食生活改善推進員と協力して実施する。	◆コロナ禍前の一年は、食事・余興等ができた	◆令和2年度から中止	
			◆送迎が出る機会を増やしてもらっていた	◆外に出る機会が少なくなり、気がなくなってきている気がする ◆食事作りをやめて外食弁当にしてお年寄りとの交流を深める ◆食事作りのない活動にしたい		

②地域との触れ合いを通し、皆が健康で豊かなこころづくり

活動名	目標	目標に対する評価		目標達成に向けての取り組み	目標達成に向けての取り組みの振り返り	
		(参考) 地区社協事務局	策定委員会		やったこと	出来なかったこと
					やって分かったこと (成果・課題)	出来なかったことで起こったこと もし出来ていたら期待できた効果
子育て支援 (母子保健推進員)	・広報「津田地区子育て応援団」の認知度をあげる、広める	○まあまさん方がお願いに回られて、チラシの設置場所を増やされたり努力されている。対象者（子育て世代）への周知は赤ちゃん訪問時に配布するなど出来ていると思うので、全世代の認知度を上げる取り組みが今後は必要と思う。	◆新たな配布先をさがす ◆チラシを配った後のフォローの仕方 ◆チラシがホントに行きたくらいのところにいきわたらない ◆もっと子育て親子の集まる場所で配布できるといいです	①地区内スーパーなどでのチラシの掲示依頼	◆チラシ見たことがない ◆イギーズさん(パン屋)でみました	
	・情報提供体制の強化	○内容は毎年グレードアップさせるなど充実を図っておられる。 ○提供体制は、保健師さんの協力で対象者へピンポイントの情報提供が行えているほか、公民館の館報にパンフレットの簡易版を掲載したことで、体制を強化してきたと考えている。今後は、より人の記憶にのこるような広報が必要か。	◆SNSの活用ができないか？	②津田地区子育て応援団チラシの回覧	◆チラシが配布された	
	・子育て環境の充実	○子どもを育てる会さんで行事の増加や対象者の拡充をされた。 ○子どもを対象とした事業は、子どもを育てる会のほか、まあまさん(くれよんバス)体協さんなどが実施しており、参加者も多くある。津田地区社協は実施団体を引き続き支援する形で環境の充実を図る	◆「食」の面での子育て世代の方に意識を持ってもらいたい ◆自販機での飲み物の糖分の量を意識して欲しい ◆わいわいサロンで試食が出来るので、多数の参加をお願いしたい	③世代間交流の促進、公民館等事業への積極的参加を呼び掛ける(公民館文化祭、納涼祭、七夕、踊って歌って楽しいかい等)	◆コロナ前には納涼祭、七夕には参加していた	◆踊って歌って楽しいかい毎月参加しているミニ体力チェックもしている ◆様々な団体や人たちが、それぞれ協力しながら、呼びかけを行い、参加につなげる

活動名	目標	目標に対する評価		目標達成に向けての取り組み	目標達成に向けての取り組みの振り返り	
		(参考) 地区社協事務局	策定委員会		やったこと	出来なかったこと
					やって分かったこと (成果・課題)	出来なかったことで起こったこと もし出来ていたら期待できた効果
健康つた 21	・健康づくりの 推進と広報の強 化	○健康づくりの推進については、コロナ禍で難しい面があったが、出来る限りの方法で実施できた。 ○広報については、新たなたよりの発行などを行った。たよりのチラシを見てもらう工夫については、工夫の余地がまだあると思う。効果的な広報を行うためには、「健康」に興味を持ってもらえるような活動やおいているチラシを手にとってみたくなるような工夫が必要	◆若い人にも参加してもらいたいが ◆新しい人の人集めができれば ◆参加者の年代を広げる ◆世話をする人の年代も広げる	①保健協力員の組織化		
				②健康体力チェックの実施	◆毎月第3水曜の生きがい事業の時に2～3項目のチェックをしている	◆健康づくりがすすむ
				③健康体力チェック出前講座の実施と各町内会へ働きかけ	◆令和5年度は出前をしてほしい	◆コロナの為実施できていない ◆ほかの活動と重なって参加できない
				④健診率向上のための活動、PR	◆見たことがある気がする ◆検診しやすい環境ができた ◆広報車でPRしたいが	◆コロナの為実施できていない
				⑤検診日に合わせて、健康チェックの実施	◆毎年ほかで(JA)人間ドックに行っているの で、地区でのかかわりがない	
	・健診受診率向 上(1%/年UP)	コロナもあり、受診率は下がった。年1%のアップは出来なかった。	◆文化祭や納涼祭で広報させて もらおうとよい	⑥各世代に向けた食育講座・健康づくり講座開催	◆わいわいサロンにて離乳食の紹介(1月・3月)	◆健康づくり調理実習(コロナ) ◆離乳食を試食してもらえなかった(コロナ)
				⑦健康ウォーキング教室の実施	◆毎土曜におこなっているが、一度参加してみたいと思っている ◆活動しているところをよく見かける ◆一度参加してみたいと思った ◆外での活動なので目立つ一気になる⇒参加したい気持ちになりやすい ◆活動しているところをみると気持ちがよい	
				⑧軽体操・脳トシの習慣づくり	◆なごやか寄り合い交流会にて脳トシの紹介をしてほしい	

③支援が必要な人を取りまく環境づくり

活動名	目標	目標に対する評価		目標達成に向けての取り組み	目標達成に向けての取り組みの振り返り	
		(参考) 地区社協事務局	策定委員会		やったこと	出来なかったこと
					やって分かったこと (成果・課題)	出来なかったことで起こったこと もし出来ていたら期待できた効果
福祉推進員の会	・独居高齢者の見守り活動	○見守り活動は実施されている。 ○研修等で福祉推進員さんの意識の向上も感じる	◆見守り活動はそれぞれの地域で実施されている ◆町内会報等で民生児童委員・福祉推進員を知ってもらう必要あり	①研修・交流会を実施し、推進員同士のつながりをつくる ②信頼を得た見守り活動が出来るよう、2年任期で引き受けていただくよう活動内容について自治会に広報を行う。	◆研修会・懇談会の実施 ◆研修を通じて推進員同士のつながりを深めることができた ◆組織の向上 ◆年度ごとに班長会にて研修内容を検討 研修の情報が欲しい	
	・支援対象者を広げる	○支援対象者は独居高齢者が中心で、広げることは難しいのではないかと感じる。 ○福祉推進員にどこまで求めるのか、負担増が心配 ○自治会と福祉推進員の連携を深めたい。	◆対象者を広げるのは難しいと思う	③独居高齢者だけでなく、要支援者(障がい者(児)含む)で平常時見守り希望の方を自治会と協力しながら見守る	◆見守り 相手の方に見合った見守りが必要 ◆5月の町自連会長会での活動紹介は続けたいと思う ◆回想法の研修はなごやが寄り合いにも使えそう	◆暮らしの情報(津田版)を作って配布する
民生児童委員協議会	・委員の知識及び技術の向上	○現状大変努力されていると感じる	◆定例会等開催されている(定期的に)	①定例会等による研修の充実を努める。	◆毎月の定例会に加え、出前講座をはじめ各種の研修会を行い良かった。見識の向上に ◆福祉推進員との合同研修会は連携・情報交換等大変良かったと思う	関連団体との連携 町自連
	・関係団体との連携強化	○福祉推進員の会との連携は継続した研修などで実施できている。	◆地区ごとに顔合わせ、情報交換出来ている 費用の面の助成をお願いしたい	②民生児童委員、福祉推進員、町自連、地区社協など、連携・協力・情報共有を行う。	◆民生児童委員さんとのつながりを密にすることは大切 やり方等は事務局を中心に検討してもらいたい ◆地域の方との連携のための会を催せたらと思う	◆町自連との連携・協力情報共有する機会を作るべし ◆認知症サポーター養成講座の開催を多くしてほしい ◆地域の方との連携のための会を催せたらと思う ◆独居高齢者と合わせて認知症の方をどのように地域としてフォローするか?また、研修会をたびたび実施

活動名	目標	目標に対する評価		目標達成に向けての取組み	目標達成に向けての取り組みの振り返り	
		(参考) 地区社協事務局	策定委員会		やったこと	出来なかったこと
					やって分かったこと (成果・課題)	出来なかったことで起こったこと もし出来ていたら期待できた効果
障がい者 (児)の 支援	・ミントの会など活動団体支援の強化	○資金面での支援は実施しているが、支援体制についてより深めていきたい。	◆津田地区内の施設を知ること も大事	①障がいに対する講習会・懇談会の実施	◆障がいへの理解の講演会・話し合いは良かった ◆福祉施設との話し合いできた 双方にとって良かった	◆学校との話し合いしなかった ◆学校・保護者との連携 ◆相談窓口の明確化?
				②会、社協、学校、福祉施設なども含めた話し合いの実施	◆文化祭以外にもヘルプマークの啓発活動をしていかないといけない	
	③活動・広報の支援	◆互助の館訪問をされて、いろいろな話をされて良かったと言われました				
	・障がいに対する理解の普及	○イベント的ではなく、常時の啓発が必要と感じている。 ○今まで実施してきたDVD研修などと同時に、今後は身近な事業所の見学など、もう1歩進んで、より理解が深まるような活動を継続していきたい	◆支援体制を強化していく 各種団体との交流 ◆ヘルプマークに対する知識を深めていく (ポスターを公民館に貼って欲しい) ◆支援するという言葉に抵抗を感じる <u>一緒に</u>	④相談窓口の明確化		
(その他)				アンケートの実施はよかった		

④よりよい地域にするための学習・つながりづくり

活動名	目標	目標に対する評価		目標達成に向けての取り組み	目標達成に向けての取り組みの振り返り	
		(参考) 地区社協事務局	策定委員会		やったこと	出来なかったこと
					やって分かったこと (成果・課題)	出来なかったことで起こったこと もし出来ていたら期待できた効果
学習・話し合いの場	<ul style="list-style-type: none"> ・民児協、福祉推進員、町自連と研修会を行う 	<p>○民児協と福祉推進員の会での研修は実施できたが、町自連との研修は今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆共通体験をいかに持つか ◆共通体験のある団体は強い ◆行きたくなるような仕掛け ◆「上に言われてやる」というのは良くない ◆出やすい工夫(無理強いを逃げる) ◆自然と集う仕掛け ◆世代で集まりやすさ(時間帯等)が違う(ネック) ◆町内会が主体となると一番いいが、今は町内会が応援するというかたちになっている ◆スモールステップの積み重ねが必要 地域にいる人材をみつけること ◆人材の把握はそれぞれの地区でのイベントでできる、やる まずは出してみる出れるようなメニューがあること ◆つながりづくりをすると、あとからついてくる ◆連携は大きな団体同士でなく、もっと小さな単位でするとよい ◆リーダー養成が絶対必要 ◆第5次計画は内容が大きくて概要っぽいので、もっと身近に、強制感なく興味を持ってもらえるような活動で、集える場所をつくる 	<p>①平時からの見守りを行い団体間の交流を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆民児協と推進員の会の研修は4年間絶やさず実施した ◆民生児童委員と福祉推進員のつながりが年々強まっていると感じている 	<ul style="list-style-type: none"> ◆世代間交流ができなかったこと ◆コロナにより団体間の話し合いができなかった ◆(全体に伝えるが)やらなかったことで今までできてきたことの無駄がみえた ◆津田地区の福祉団体以外の団体との交流ができていない(全体の情報共有) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体同士 また市社協、包括支援センター、福祉施設等との連携・情報共有 	<p>○市社協のCSWさんや包括の相談員さんにたびたび地区活動に参加していただき、顔見知りになることで相談しやすい関係ができつつあるのではと思う</p> <p>○各種団体との連携は災害時の体制を含め不十分</p>		<p>②災害時の支援体制についても確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆防災組織の確認 ◆災害時の連絡体制の確認 ◆毎年役員がかわる団体がある事と、それで対応が違うことが分かった ◆役割分担が、いざという時わからない人がいる ◆避難状況 時系列の状況判断をする必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ◆災害時の支援体制の確認が× ◆福祉避難所の利用が確認× ◆災害がなかったことが一番◎ ◆災害時の連絡体制の確認は毎年必要 	
たよりの発行	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協・福祉推進員・健康つだ推進隊の認知度をあげる 	<p>○認知度について正確には把握が難しいが、全戸配布のたよりなどで役割をつたえることは意識して活動できた。</p>	<p>③毎年、座談会を実施し、生活・福祉課題など情報を共有し、活動に活かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆情報共有に向けた研修会等はよくできた ◆チームワークがよい！話し合いをしてみんなの意見を尊重 ◆福祉課題を共有したが、次への展開ができていない 	<ul style="list-style-type: none"> ◆要配慮者支援組織の立ち上げ× ◆話し合いが出来ていたら、各団体で課題に対する役割分担ができたかも ◆役割分担を決めすぎると、いざという時に動きがにぶるかも 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・情報、資料を収集し住民に提供 	<p>○情報提供はしている</p>		<p>①それぞれの役割を広く伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆福祉だより年3回発行 ◆子育て応援団チラシ 年1回発行 ◆子育て応援団のチラシを見て、新しいメンバーが参加出来た ◆福祉だよりや推進員だよりは、民児協や福祉推進員の協力を得て、町内会未加入の独居高齢者宅へ配布できた ◆たよりの配布を通じて民生児童委員と福祉推進員の連携が良くなった 	<ul style="list-style-type: none"> ◆町内会未加入世帯にR1～R3配布できなかった ◆もっと認知度を高めたい ◆たよりの発行の効用等について、振り返り意見聞き取りが出来ていない 	
			<p>②紙面の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆(福祉だより)字を減らし絵を増やした ◆(応援男子チラシ)毎年かわいらしくて児童館やボランティア喫茶の紹介も入れた ◆定められた回数目標(発行回数)はすべてできた ◆福祉だよりに写真が多く取り入れられ、関心を強めた 	<ul style="list-style-type: none"> ◆福祉に関する法令規則の周知が十分取り入れられていない ◆町内会未加入世帯へのたよりの配布を一考する 		

第6次地域福祉活動計画策定に伴うヒアリング内容まとめ
(関連する項目を記載)

	団体名	内容①	内容②	内容③
1	津田地区町内会自治会連合会	町自連会長会での 福祉研修の実施	暮らしの情報の一覧表の 発行・配布	
2	津田地区民生児童委員協議会	民生児童委員・福祉推進員 合同研修会の継続		
3	健康つだ推進隊	若い世代へ交流しながら 活動内容を広報していく	がん検診広報の継続	
4	津田地区福祉推進員の会	民生児童委員との関係強化	「福祉推進員」制度や役割 の広報	
5	津田地区高齢者クラブ連合会	助成金の維持	移動困難者への支援	
6	つばきの会 (ボランティア喫茶)	現在の体制の維持	広報の強化 (パンフレットの発行等)	
7	津田地区母子保健推進員	「子育て応援団パンフレット」 発行部数・配架箇所の増加	「母子保健推進員」の役割や活動 の広報	子育て支援体制の 時代に合わせた発展・充実
8	津田地区防災協会	高齢者向けの防災講習 (消火器の使い方等)		
9	津田子どもを育てる会	多角的な広報	団体間での協力体制	
10	津田地区食生活改善推進員	男の料理教室の実施		
11	ミントの会	障がいについての研修の実施	ヘルプマークの啓発	